

ムーンショット型研究開発制度5年目評価について(案)
(目標5)

令和6年6月3日
総合科学技術・イノベーション会議

ムーンショット(以下「MS」という)型研究開発制度は、我が国発の破壊的イノベーションの創出を目指し、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進する最大10年間にわたる国の大型研究プログラムである。

ムーンショット型研究開発制度の運用・評価指針においてCSTIが行うこととされている5年目の評価について、以下の通りとする。本目標については、

継続 / **終了**

とする。

(評価)

○MS目標に対する進捗状況

MSが目指す独創性や先進性のある研究開発において優れた部分があることを確認した。国際ベンチマーク調査により2030年ターゲットに向けた戦略を明確化するとともに、事業化構想の策定支援、産学連携や国際連携の推進など着実な進捗を確認した。

○今後のMS目標の達成の見通し

早期の起業・外部資金調達や標準化、他プロジェクトへの展開など自立の道筋を見極め、スピノアウトも視野に研究開発を加速する方針とともに、それぞれのプロジェクトマネージャー毎の分析を踏まえた開発・事業化等実施方針を確認した。ポートフォリオの見直しなどメリハリのあるマネジメントと事業化に向けた支援体制で目標達成を目指すことを確認した。

(付帯事項)

継続にあたり、以下の事項について、関係府省、研究推進法人一体となって、引き続き取り組むこと。また、今年度内にムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議に付帯事項に係る進捗を報告すること。

- 国際情勢や技術動向を整理し、挑戦的な研究開発を含め機動的なポートフォリオの見直し
- 若手研究者がプロジェクトに積極的に参画できる環境の構築および人材育成の推進
- 他制度や各戦略との連携や役割の明確化
- 知財・標準化戦略(オープンクローズ戦略)の策定
- 社会変容につながる取り組みや社会受容性の向上に向け、各種イベント活用など、消費者や生産者との対話促進

以上